

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本競技会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

## 2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に大会ガイドラインとなる「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

- (1) 東京中体連陸上部ホームページ【[www.tokyoctr.com](http://www.tokyoctr.com)】より、「体調管理チェックシート」をダウンロードし、記入をしておく。その際に、検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。（体調管理チェックシートは毎日提出するので、必ず控えをとっておくこと。）
- (2) 競技会出場者は、「保護者同意書」を東京中体連陸上部ホームページからダウンロードし、事前に保護者に記入してもらうこと。
- (3) 当日の受付をスムーズに行なうため、自分のビブス（ナンバーカード）の番号を、東京中体連陸上部ホームページから確認するとともに、自分の競技時間、競技順序、招集時間等を確認しておくこと。
- (4) 当日は、ビブス（胸・背中用2枚）腰ナンバー標識（トラック競技用1枚）、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、ADカード入れ用首掛けホルダー、筆記具を持参すること。

## 3 競技場の入場及び競技者受付について

- (1) 競技場の入退場は、プログラム記載の会場図を参考に、係員の指示に従って行動すること。
- (2) 開門時刻は、両日とも8時00分とし、中央広場・スタンド正面の門から入場すること。  
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。
- (3) 競技者・指導者・引率者は入場の際に、手指消毒、靴底消毒（競技用靴含む）、及び検温を行う。
- (4) 競技者・指導者・引率者はTIC（競技者受付をメインスタンド裏、正面入口付近に設置する）にて、事前に記入した「体調管理チェックシート」及び「保護者同意書」を提出し、ADカード、「行動確認票」を受け取ること。  
※TICでの受付はタイムテーブルの順に行う。競技者は自身の競技時刻の2時間前を目安に来場すること。
- (5) 1日目の7時20分よりBゲート外側にて支部受付を行う。各支部の代表者がプログラム・リレーオーダー用紙を受け取ること。
- (6) プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、競技開始の1時間30分前までにTICへ申し出ること。
- (7) プログラムは残部がある場合に限り、TICにて販売する。
- (8) 競技場から帰宅の際には、必ず退場口でADカード及び「行動確認票」を提出すること。行動確認票は競技場に入場してから退場までの間、おおよそ競技場のどのエリアにいたかを確認するためのものである。
- (9) 2日間にわたり本競技会に出場する競技者は、出場する日ごとに、入場の際は「体調管理シート」、退場の際には「行動確認票」を提出すること。

## 4 練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員（指導者）の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、練習の際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。
- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用ADカードを身につけること）
- (4) 練習を競技区域内で行う際の入退場は、フィニッシュ地点側のBゲートからとする。
- (5) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

(6) ハードルの設置については、以下のとおりとする。

1日目	110mJH	準備完了次第～9：15	ホームストレート3～8レーン
	男子110mH 100mH	12：10～13：10	バックストレート
2日目	女子100mH	準備完了次第～9：00	ホームストレート3～8レーン
	100mYH	12：00～13：25	バックストレート

(7) 走幅跳の足合わせは、競技会開始前にピットの準備ができ次第使用を認める。また、以下の時間にバックストレートに設置する。

1日目	11：50～12：30
2日目	11：40～13：30

## 5 欠場について

本競技会を欠場する際は、支部代表者が競技開始時刻の90分前までにTICへ欠場届を提出すること。(用紙はTICに用意してあるものを使用すること)

## 6 招集について

(1) 競技者係は、100mスタート地点脇のスタンド下に設置する。競技者係へ来る際は、メインスタンド外側のAゲート前階段を通ること。用件が済んだ者は、メインスタンド中央階段を通り退場すること。

(2) 招集の確認において、競技者は必ずマスクを着用すること。

(3) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。

(4) 招集の方法

① 招集開始時刻にトラック競技は出発地点、フィールド競技は各ピットにて競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス(旧ナンバーカード)・腰ナンバー標識(トラック競技)のチェックを行う。

※リレー競技に出場するメンバーは、各種目の1組目開始時刻の1時間40分前～オーダー用紙提出の締切時刻の間に必ず4人揃って、ユニホームが統一されているか、競技者係にチェックを受けること。その後、招集開始時刻までに各コーナーへ行って確認を受ける。

② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

③ 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を過ぎた場合は、当該種目を棄権したものと処理する。

※本大会は、基本的に現地招集のため、トラック競技は競技開始20分前招集開始、10分前招集終了といつもとは異なるので、注意すること。フィールド競技は競技開始40分前招集開始、30分前招集終了。(例年と同じ時間)

※個人種目とリレーの競技・招集が重なる場合は、予め競技者係にその旨を申し出ること。

※トラック競技の決勝(予選がある種目)は、競技者係で腰ナンバーを配布されるので、時間に余裕をもって移動すること。

## 7 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で作成すること。

(2) 胸と背部に確実に固定すること。(跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。)

(3) トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して、腰ナンバー標識(1枚)を各自で作成し、右腰やや後方につけること。(リレー競技は、アンカーのみつける)

トラック競技の決勝(予選がある種目)は、番組編成を確認し競技者係より配布される腰ナンバー標識を受け取り、スタート地点へ集合すること。

## 8 競技区域への入退場について

(1) 競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。

(2) 競技区域からスタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。

(3) トラック競技・フィールド競技とも、競技区域への入場は100mスタート地点側Aゲートからとする。

(4) 各競技終了後の退場動線は次のとおりとする。

- ① 100m、ハードル、リレー4走、砲丸投  
⇒終了後、バックストレート(グリーンベルト)を通してスタート地点まで戻り、靴を履き替える。100mスタート脇からメインスタンド下へ入り、中央階段を通り退場する。
- ② 200m、3000m、リレー3走  
⇒終了後、バックストレート(グリーンベルト)を通してスタート地点まで戻り、靴を履き替える。再びバックストレートを通してBゲートから退場する。
- ③ 1500m、リレー4走  
⇒終了後、バックストレート(グリーンベルト)を通してスタート地点まで戻り、靴を履き替える。再びバックストレートを通してBゲートから退場する。
- ④ 400m、800m、リレー1走  
⇒終了後、靴を履き替えBゲートから退場する。
- ⑤ 走高跳、棒高跳  
⇒競技終了後、Bゲートから退場する。
- ⑥ 走幅跳  
⇒競技終了後、靴を履き替え、中央階段を通して退場する。
- ⑦ 砲丸投  
⇒競技終了後、100mスタート脇からメインスタンド下へ入り、中央階段を通り退場する。

## 9 競技及び競技方法について

### (1) トラック競技

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーン順はプログラム記載順どおりとする。
- ③ 不正スタートをした競技者は失格とする。  
【注意】不適切行為に関する国内適用が廃止されたので、以下の点に注意すること。
  1. 不適切行為(速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等)をした競技者へは、イエローカードを提示し審判長が警告を与えられることがある。 ※グリーンカードではない。
  2. 競技会の中で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される。 ※競技会を通しての累積である。
  3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
- ④ 短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。
- ⑤ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑥ リレーメンバーは、申込一覧表に申込んだ6名以内(都中体連ルール)とし、学年別は出走する4人が統一された服装で、共通の選抜チームは上着をそろえて競技すること。
- ⑦ リレーで使用するマーカーは各支部(学校・支部名を記入)で用意し、レース終了後必ずはがすこと。(練習も同様とする。)
- ⑧ ハードル競技は、以下の規格で行う。

	高さ	インターバル	台数
1年男子100mH	0.838m	13.00m-8.50m・・・10.50m	10台
2年男子110mH	0.914m	13.72m-9.14m・・・14.02m	10台
3年男子110m JH	0.991m	13.00m-8.00m・・・15.00m	10台
1年・2年女子100mH	0.762m	13.00m-8.00m・・・15.00m	10台
3年女子100mYH	0.762m	13.00m-8.50m・・・10.50m	10台

### (2) フィールド競技

- ① 跳躍種目の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。

- ② 走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。(天候等により変更することもある)

種目	練習	競技
1・2年男子	1m40 or 1m55	1m45 50 55 60 65 70 73 以後も3cmずつ
3年男子	1m50 or 1m65	1m55 60 65 70 75 78 81 84 以後も3cmずつ
1・2年女子	1m15 or 1m30	1m20 25 30 35 40 43 46 以後も3cmずつ
3年女子	1m25 or 1m40	1m30 35 40 45 50 53 56 以後も3cmずつ

※残りの人数が10名前後になったら、跳躍審判員とフィールド審判長の判断により呼び出しを1名にし、A・Bピット同時進行にて順位を決定する。

※1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

- ③ 棒高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。(天候等により変更することもある)

種目	練習	競技
共通男子	2m80 or 3m20	2m60 80 3m00 20 30 40 50 60 70 80 90 4m00
オープン男子	3m60 or 4m00	以後も5cmずつ
共通女子	1m80 or 2m20	1m80 2m00 20 30 以後も10cmずつ
オープン女子	2m60 or 3m00	

※1位決定のためのバーの上げ下げは5cmとする。

- ④ 投てき用具は、以下の規格を用いる。

【男子】共通砲丸投5.000kg 1・2年4.000kg

【女子】1・2年砲丸投2.721kg 3年砲丸投2.721kg

- (3) 抗議および上訴について

- ① 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板に正式発表されてから30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、顧問またはそれに準ずる立場の者がTICに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。
- ② 抗議後の決定に不服がある場合は、預託金10,000円を添えてジュリー(上訴審判員)に上訴することができる。但し、上訴が受理されなかった場合は、預託金は没収される。

- (4) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言(指導)を行うことは禁止する。メインスタンドの区画された範囲をコーチングエリアとする。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外(スタンド)にいる競技者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(スマートフォン・ビデオカメラ等)を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

## 10 用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

## 11 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

## 12 表彰について

- (1) 各種目の得点を1位8点、2位7点、・・・8位1点とし、総合・男子・女子の3部門に分けて順位をつける。
- (2) 総合優勝支部に教育委員会杯、男女優勝支部には連盟杯および賞状を授与する。
- (3) 8位までに入賞した選手に賞状を授与する。競技結果の発表後、TICに受け取りにくること。

## 13 競技場使用上の注意

- (1) フィールド内の芝生は使用禁止となっているので入らないこと。
- (2) グランド以外(スタンド・建物内)はスパイクシューズを脱いで通行すること。(素足での移動は不可)
- (3) 更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。

- (4) 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努めること。
- (5) 競技場内の整備に努め、ごみ類は必ず持ち帰ること。(汚すと以後の競技場使用が困難になる)
- (6) トイレは清潔に使用すること。
- (7) ビン・カン類の持込は禁止する。
- (8) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
- (9) ホームストレート・走幅跳・走高跳ピットの正面および後方からの写真・ビデオ等の撮影を禁止する。

#### 1.4 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

##### (1) 競技者及び来場者に関して

- ① 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、参加競技者及び引率者(引率顧問、保護者引率の場合は保護者可)のみで来場すること。
- ② 競技者及び引率者は競技会当日を含め8日間の検温を実施し、指定の「体調管理チェックシート」に記載し、「保護者同意書」と共に受付時に提出すること。チェックシート・同意書の提出と引き換えに競技者及び引率者には「ADカード」・「行動確認票」を発行する。チェックシート・同意書を提出しない競技者及び引率者については、原則として来場及び参加を認めない。
- ③ 入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ずADカードを提示すること。ADカードのない者は入場できない。
- ④ 競技は無観客で行う。ADカードを発行された関係者は入場できるが、引率者は競技者が練習・競技を行うときのみ、スタンドの指定された場所で観戦することができる。
- ⑤ 以下の事項に該当する場合は、来場を見合わせる。
  - ・ 体調がよくない場合(例、発熱(37.0℃以上は再検)、咳、咽頭痛などの症状がある場合)。
- ⑥ 以下の事項に該当する場合は、来場及び参加を認めない。
  - ・ 当日の体温が37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
  - ・ 同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ⑦ 競技場から帰宅の際は、退場時にTIC(正面入口)へ「行動確認票」を提出すること。
- ⑧ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。

##### (2) 来場及び競技の参加にあたって

- ① 参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
- ② 来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- ③ 石けんを用いた手洗い・手指消毒、うがい、洗顔を励行する。
- ④ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。
- ⑤ ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑥ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- ⑦ 飲食等の際は感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。なお、スタンドでの食事は禁止とする。(水分補給、飲料の摂取は可)
- ⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。
- ⑨ タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。

#### 1.5 その他

- (1) 2020年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について、特に注意すること。
- (2) 競技中の応援・助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (4) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (5) 盗難防止のため、荷物は各自で責任もって管理すること。
- (6) 記録はその都度、アナウンスおよび記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (7) 届けられた遺失物については、TICで保管する。保管期間は10月25日競技終了時までとする。

- (8) 記録証は1部300円で発行する。希望者はTICに申し出ること。  
 (9) 駒沢大学駅～競技場への往復の行動は、近隣住民及び公園利用者の迷惑にならないように注意すること。

### 前年度の成績

	総合		男子		女子	
1位	八王子	149	八王子	81	八王子	68
2位	江戸川	128.5	江戸川	74	府中	63
3位	練馬	102	練馬	53	江戸川	54.5
4位	江東	94	板橋	44	世田谷	53
5位	世田谷	88	足立	41	江東	53
6位	葛飾	72	江東	41	練馬	49
7位	足立	71	葛飾	37	葛飾	35
8位	府中	69	町田	37	あきる野	35

第73回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。  
 競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/cyuugaku/index.htm>

QRコードもご利用ください。



競技会コード 20 13 3003 競技場コード 132090